令和5年度医薬品販売制度実態把握調査結果 (覆面モニター調査)

1 調査概要・目的

厚生労働省が業者委託により実地している調査で、若年者の中で医薬品の濫用が問題になっていることや医薬品の販売制度に関する検討会での検討等を踏まえ、医薬品の販売ルールの遵守状況等について、一般消費者の立場からの目線で調査することにより、医薬品販売の適正化を図る。

2 令和5年度調査概要

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

調査対象数：3,025件（うち千葉県166件）

調査事項：従事者の区別状況、要指導医薬品の販売方法（本人確認、薬剤師による販売）
一般用医薬品の情報提供、相談対応の状況等

(2) 薬局・店舗販売業の特定販売（インターネット販売）に関する調査

調査対象数：500件（うち千葉県12件）

調査事項：一般用医薬品の情報提供、相談対応の状況等

3 調査結果（主な項目の遵守率）

調査項目		全国 (%)	千葉県 (%)
区分ごとの 陳列状況	要指導医薬品・第1類医薬品	94.9	98.4
	第2類医薬品・第3類医薬品	88.4	97.2
専門家の 区分状況	従事者の名札による専門家の区分の着用状況	96.7	97.6
掲示状況	リスク分類の定義・解説	72.0	78.9
	情報提供及び相談の定義・解説	63.4	75.3
要指導 医薬品	購入者が使用しようとする者本人かどうかの確認	81.0	75.9
	使用者の状況の確認	96.1	96.6
	文書を用いた情報提供	91.0	92.6
	情報提供された内容を理解したかどうか等の確認	73.5	77.8
	相談に対して薬剤師が回答	96.1	96.6
第1類 医薬品	文書を用いた情報提供	80.3	69.8
	情報提供された内容を理解したかどうか等の確認	65.9	83.7
	薬剤師が情報提供	96.5	95.3
第2類 医薬品	相談に対して薬剤師又は登録販売者が回答	93.6	85.2
	指定第2類医薬品に関する注意喚起の状況	81.4	82.9
	濫用のおそれのある医薬品を複数購入希望時の確認	80.8	86.3

※ 適合率が8割を下回った項目について網掛け表示